

(ビッグデータ・オープンデータの活用－N－9)

スマートフォンの位置情報ビッグデータを活用した 観光動態、商業動態・診療圏調査を実施 (岡山県倉敷市)

【概要】

岡山県倉敷市では、高梁川流域圏域7市3町における連携中枢都市圏の成長戦略ビジョン策定のための基礎調査として、スマートフォンの位置情報ビッグデータを活用した新たな経済動態調査手法を採用しました。

【コラム】

(1) 事業の背景

位置情報ビッグデータを活用することにより、これまでの調査手法よりも「低コスト」で「大量のデータ」を活用でき、従来の手法では困難であった観光客の滞在時間分析、立ち寄り分析など「複雑で詳細な分析」が可能になりました。倉敷市は、複数自治体にまたがる広域連携施策調整にあたり、観光、商業、医療の各分野における多面的かつ客観的なデータによる状況把握が必要であると考え、今回の調査実施に至りました。

(2) 調査サービス概要

今回の調査は、KDDI株式会社と株式会社コロプラが提供する「位置情報ビッグデータ分析サービス」を活用しています。本サービスは、auスマートフォンユーザーから同意の上取得し、個人が特定できない形に加工した位置情報、及び、性別・年代といった属性情報を、KDDI株式会社から委託を受けた株式会社コロプラが分析し、観光動態や商業動態が分かりやすく可視化されたレポートを作成するものです。今回の調査は、高梁川流域圏域訪問者の居住地域、属性、立ち寄り先、主要流入経路、旅程、観光エリア（来訪者数、平均滞在時間、周遊ルートなど）を分析する「観光動態調査レポート」と、圏域内の主要商業施設・主要医療機関周辺来訪者を分析する「商業・診療圏動態調査レポート」からなります。

① 観光動態調査レポート調査概要

- － 調査対象 高梁川流域圏域内における60分以上滞在者
- － データ期間 2013年7月1日から2014年6月30日までの1年間

② 商業動態調査レポート調査概要

- － 調査対象 主要商業施設（イオンモール倉敷、三井アウトレットパーク倉敷・アリオ倉敷、フジグラン神辺、イオンモール岡山）周辺における30分以上滞在者
- － データ期間 期間1：2014年11月1日から2014年11月28日までの28日間
期間2：2014年11月29日から2014年12月31日までの33日間

③ 診療圏調査レポート調査概要

- 調査対象 主要医療機関（倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院、倉敷しげい病院、倉敷成人病センター）周辺における45分以上滞在者
- データ期間 2014年9月5日から2014年11月30日までの87日間

(3) 調査結果

観光客の滞在時間や宿泊傾向については、倉敷市内は一定程度の傾向は推察できていたものの、高梁川流域圏域全体における実態はこれまで把握できていませんでした。今回の調査により、倉敷市中心部が圧倒的な来訪者数を擁し、圏域全体に対する送客ポンプの役割を担っていることが数値で裏付けられる一方で、訪問者の半数以上は日帰りで、宿泊しても11%は圏域外の岡山市に流出してしまうといった圏域の課題が鮮明になりました。また、観光エリア周遊箇所数を2ヶ所以上周遊することで、宿泊率は約2倍になり、域内泊率は約4割増加することが分かり、周遊施策の重要性や方向性に関する共通見解が得られました。

また、商業動態調査・診療圏調査により、倉敷市主要4病院の診療圏、イオンモール倉敷、三井アウトレットパーク倉敷・アリオ倉敷の商圈が圏域全体に広がっていることが判明しました。

(4) 今後の展開

今回の調査結果に基づき、現状分析を踏まえた課題解決（例えば、来訪者の宿泊者数の増加など）を目指し、高梁川流域圏域の成長戦略、倉敷市の総合戦略に活かしていきたいと考えています。

【問い合わせ先】

- 倉敷市役所 文化産業局 商工労働部 商工課
- 電話番号：086-426-3405 FAX番号：086-421-0121
- e-mail：cmind@city.kurashiki.okayama.jp

- 株式会社コロプラ おでかけ研究所
- e-mail：odekake-ml@colopl.co.jp

